

アメリカ留学レポート

山田夏美

私は、アメリカのノースウエストミズーリ州立大学で4ヶ月間留学を体験した。目的としては、生きた英語を直接耳にして英語力を高めるため、また、他国の友達を作り、それぞれの国の文化について学びたかったからだ。

アメリカではたくさんの国の人に出会った。サウジアラビア、中国、韓国、ドイツ人などさまざまであった。授業を通してそれぞれの国の文化の違いや社会問題などを学ぶことができた。また、彼らに出会って私は英語を話すことの大切さを改めて実感した。彼らが話す英語は発音やアクセントが違い、文法すら適当な部分があったが、彼らのすごいところは、間違いを恐れず積極的に発言するところだ。同じ環境で授業を受けることは刺激になり、自分から発言することが増えた。

授業では、アメリカの社会問題や歴史、環境について学んだ。課題は毎日出され授業後には図書館に直行する日々が多かった。また文法においては、中学、高校で習ってきたものであったが、誤解している部分が多く新しい発見がたくさんあった。

また、アメリカではたくさんのイベントが行われていた。フットボールゲームやハロウィンパーティー、クリスマスパレードなど、どれも盛大に祝う様子に感動し、私はもっと日本にも浸透してほしいと感じた。特に盛大に祝われたのが **Thanksgiving Day** だ。**Thanksgiving Day** では、親戚同士で集まり、ターキーやマッシュポテトなどの伝統料理を食べた。私は日本のお正月に似ていると感じた。

私たちには **Conversation partner** が1人つき、1週間に2回話し合う機会が設けられていた。私の **Conversation partner** は **Mallory** という女の子で、彼女は話すことがとても大好きだった。彼女とは、日本とアメリカの違いやアメリカのホリデイについて話した。しかし、彼女の英語はとても早く、聞き取ることに必死で笑ってごまかすことが多かった。この点について私は今でも反省をしている。けれども、彼女のおかげで得るものもたくさんあったため、とても感謝している。

この4ヶ月の中で、私は特に **ESL** の先生方に感謝の言葉を申し上げたい。彼らは私たちを生徒として、また友達のように接してくれた。優しく、時に厳しく指導してくれたため、授業に対する取り組みが一層強まった。彼らのおかげで私は英語力を高めることができ、彼らのおかげでこの4ヶ月間を充実させることができた。今回の留学は私の人生においてかけがえのないものになるだろう。